

オーストラリアのランチについて

平嶺彩夏（高校2年）

オーストラリアのランチは、大体の人がサンドイッチでした。中身は、日本と同じように家庭によって様々でした。例えば、王道の卵と、チーズと、ハムを入れた卵サンドだったり、ジャムを塗ってジャムパンにしたりしていました。オーストラリア感を感じたところは、ジャムのような感覚でベジマイト(*)を塗っていたことです。日本人にはあまり好まれないけど、オーストラリアの人たちにとっては1家庭に1つは絶対にあるそうです。

(*)ベジマイト オーストラリアで生産されている発酵食品で焦げ茶色の味噌に似たペースト。トーストなどに付けて食べる

サンドイッチの種類としては、おかず系、ジャム系、フルーツ系の3つと、日本と変わりませんでした。ホームステイ先で、おかずには何がいいか聞かれた時は、ハム、卵、ササミ、肉、などがありました。ジャムとフルーツはベジマイト以外日本と同じような感じでした。また、サンドイッチの他にも、タコスを持ってきてる人がいました。中身は、チーズ、トマト、お肉、トマトソースでした。このようなことから、オーストラリアは、サンドイッチやタコスなど、手軽に作れて持ち運びが楽なものをランチに持っていることがわかりました。日本にある、お弁当文化は全くなく、直接リュックの中に入れるか、簡易的なタッパーに入れていました。そして、サンドイッチだけではなく、お菓子もランチの一環として持っていくことがわかりました。



みんなが持ってきたランチの写真